

各 位

会 社 名 株式会社グローバルダイニング
 代表者名 代表取締役社長 長谷川 耕造
 (コード番号 7625 東証第二部)
 問合せ先 執行役員 中尾 慎太郎
 最高財務責任者
 T E L : 03 - 5469 - 3222

第2四半期連結業績予想と実績との差異に関するお知らせ

2019年2月12日に公表いたしました2019年12月期第2四半期連結業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

2019年12月期第2四半期連結累計期間業績予想と実績との差異(2019年1月1日～2019年6月30日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に 帰属する 四半期純利益 | 1株当たり 四半期純利益 |
|-----------------------------------|-------|----------|------|--------------------------|-----------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想(A) | 4,707 | △3 19 | 19 | 11 | 1.15 |
| 今回実績値(B) | 4,683 | △5 | 26 | 7 | 0.70 |
| 増減額(B-A) | △23 | △1 | 6 | △4 | |
| 増減率(%) | △0.5 | — | 33.0 | △39.1 | |
| (参考)前期第2四半期実績 (2018年12月期第2四半期) | 4,887 | △0 | 7 | △11 | △1.10 |

【差異の理由】

2019年12月期第2四半期累計期間における連結業績は、ほぼ計画通りに推移してまいりましたが、海外子会社において著しい天候不良による減収の影響で、売上高及び営業利益が前回予想を下回りました。また、当社において、イベント・撮影等による設備の貸出使用料が増えたことにより、経常利益は前回予想を上回りましたが、当社所有の事業用資産において収益性の低下による減損損失を計上したことなどから、親会社株主に帰属する四半期純利益は前回予想を下回る結果となりました。

なお、通期の連結業績予想については、昨今の天候不順や10月に予定されている国内の消費増税など、今後の事業環境が不透明であることを勘案して現時点では据え置き、見直しが必要と判断した場合には速やかに開示いたします。

(注) 業績の詳細につきましては、本日公表の「2019年12月期第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」をご参照ください。

以上